

1.0.4

青年期の心理

と課題

青年期

児童期と成人期の中間の時期
一般的には中学・高校・大学生
(12,3~22,3歳) 位の年齢

プレ青年期

: 10歳頃~青年期まで

青年期の延長

：就学期間の延長等により
現代の青年期は一昔前より
も延長したといわれる



上野駅

UENO STATION



思春期 puberty

主に青年の身体的・性的成熟に
焦点をあてた成人への移行期

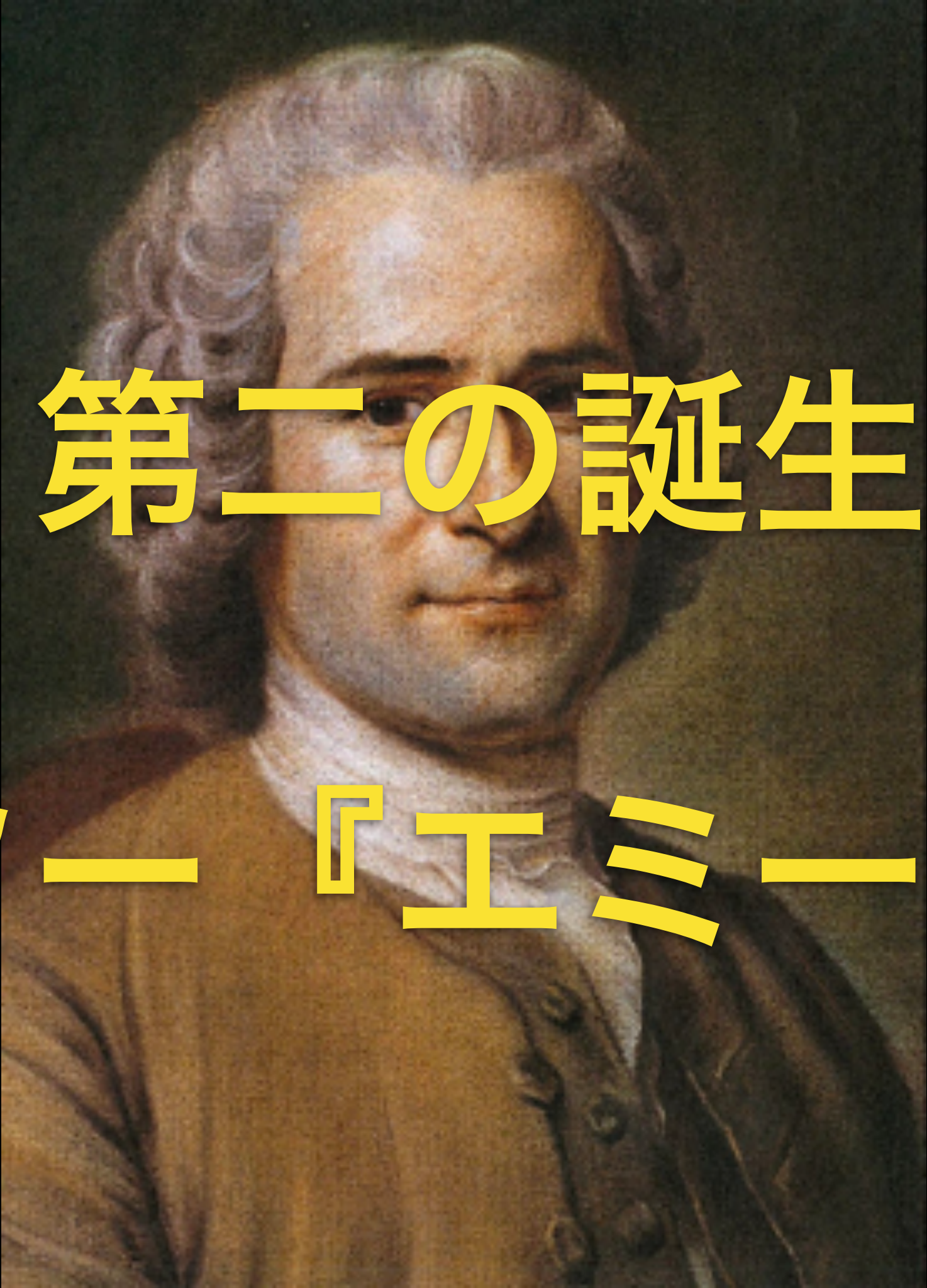
第一次性徴： 卵巣, 精巣等

第二次性徴： 性ホルモン

の作用によって起こる身

体上の男女の特徴

青年期の特質

A portrait of Jean-Jacques Rousseau, a French philosopher, writer, and composer. He is shown from the chest up, wearing a brown coat over a white cravat. His hair is light-colored and styled in a wig. The background is dark and indistinct.

第二の誕生

ルソー 『エミール』

私たちは、いわば2回

この世に生まれる

1回目は存在するために

2回目は生きるために

マージナルマン 境界人, 周辺人 by レヴィン

複数の社会集団や文化の周辺の境界線上
に位置し, そのいずれにも属さない人々

疾風怒濤

シュトゥルム・

ウント・ドラング

心身の変化が著しく、不安と悩みの多い激動の青年期をあらわす言葉。もともとは18世紀後半、ヘルダー、ゲーテ、シラーらによるドイツの文学運動。

若きウェルテルの悩み
ゲーテ



発達課題

成長の各段階で
達成すべき課題

ハヴィガースト

エリクソン

表1 ハヴィガーストによる青年期・成人前期の発達課題（1972）

青年期の課題	①同世代の男女の友人と新しい、成熟した人間関係を結ぶ ②男性あるいは女性としての社会的役割を身につける ③自分の身体的変化を受け入れ、身体を有効に使う ④両親や他の大人から情緒的に独立する ⑤結婚と家庭生活の準備をする ⑥職業に就く準備をする ⑦行動の指針としての価値観や倫理体系を身につける ⑧社会人として責任ある行動をとる
成人前期の課題	①配偶者を選ぶ ②結婚した相手と一緒に生活していくことを学ぶ ③家庭を形成する ④子どもを育てる ⑤家庭を管理する ⑥職業生活をスタートさせる ⑦市民としての責任を引き受ける ⑧気のあう社交のグループを見つけだす

出典：児玉憲典・飯塚裕子訳（1997）『ハヴィガーストの発達課題と教育』川島書店

エリクソン

ライフサイクル論



8 老年期

7 壮年期

6 成人期

5 青年期

4 学童期

3 儿童期

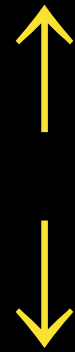
2 幼儿期

1 乳儿期

エリクソン 青年期の発達課題

自己同一性

アイデンティティの確立



アイデンティティの拡散

アイデンティティとは

① 「一貫した存在」としての自信

個性化の自信

② 「社会によって是認」されている自信

社会化の自信

心理社会的モラトリアム

アイデンティティ確立までの

準備期間

責任の猶予期間

思春期の精神的不安定は
生物学的なものか
文化的なものか

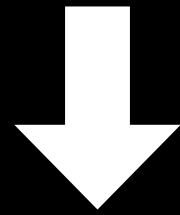
マーガレット・ミード

『サモアの思春期』

未開社会には

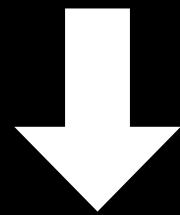
思春期のストレスがない

子ども



イニシエーション

通過儀礼



大人

フィリップ・アリエス

『〈子供〉の誕生』

中世ヨーロッパでは

子どもは

小さな大人

と考えられていた

生きる意味について

神谷美恵子 『生きがいについて』

使命感に生きる人

フランクフル 『夜と霧』

尊厳に満ちた意味のある人生

【今日のまとめ】

青年期の特徴がどれだけ自分に当てはまっているのか考えてみよう